

のお知らせ

●問い合わせ●

鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749

吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696

※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所
駐車場をご利用ください

胃がん・肺がん・結核検診のお知らせ

【共通事項】

検診会場	検診日	性別	受付時間
鴻巣保健センター	2月15日(木)	女	① 8時30分～9時 ② 9時30分～10時
	2月16日(金)	男	③ 10時30分～11時

申込み／1月24日(水)の9時以降に電話で鴻巣保健センター又は吹上保健センター(郵送・FAX不可)

※申込時に、希望する検診名(①胃がん検診のみ
②肺がん・結核検診のみ ③胃がん、肺がん・結核
検診同時受診)と希望日時を伺います。定員に満た
ない場合は、検診日前日の平日17時まで受付

対象／市内在住で40歳以上の方(昭和53年4月1日
以前生まれ)

定員(各日)／胃がん=100人、肺がん・結核=120
人(いずれも先着順) ※勤務先等で受診する方や
妊娠中の方、平成29年9月～11月に受診した方は受
診できません

持ち物／健康手帳(お持ちでない方は当日交付)・
検診費用

検診時の注意／●ボタン・金具・ベルト・貴金属・
湿布・カイロ等は、レントゲン検査の支障となるた
め、必ず外してください。検査着の用意はありませんが、
無地のTシャツとジャージ等のゴムのズボン
であればそのまま検査できます(プリントや刺繍の
上着は避けてください) ●髪が長い方は肩にかか
らないようにまとめてください ●問診票の記入が
あります ●当日の受付は来所順です。待ち時間が
長くなるのが予想されます

その他／都合がつかず、異性の検診日をご希望の方
は、③の受付時間枠の最後の受付になります

【胃がん検診】

対象とならない方／次の①～⑧に該当する方は受診
できません ①食道・胃・小腸・大腸等の疾患で開
腹手術(腹腔鏡下手術も含む)を受けた方、又は治
療中・経過観察中の方(内視鏡で大腸ポリープを切
除して6か月以内の方も含む) ②過去の検診で、
発疹等のアレルギー症状が出た方 ③腎不全で、透
析中や心疾患により水分制限を受けている方 ④慢
性呼吸器疾患等で常時、在宅酸素吸入をしている方

⑤妊娠中、又は妊娠の可能性がある方 ⑥重度の便
秘症の方 ⑦高熱や全身衰弱の強い方 ⑧嘔下障が
い(飲みこみが悪い)のある方

検診内容／問診・バリウム造影検査(検査終了後に
下剤を渡します)

費用／500円 ※生活保護世帯は受給証を持参によ
り無料

検診時の注意／【前日】●飲酒しないでください

●20時(就寝3時間前)までに食事を済ませてくだ
さい ●20時以降にのどの渇きが強い場合は、150cc
～200cc程度の水分補給(水又はお湯)は差し支え
ありません

【当日】●のどの渇きが強い場合、検診3時間前ま
でであれば150cc程度の水分補給(水又はお湯)は
差し支えありません ●飲食(ガムや飴を含む)や
喫煙はご遠慮ください ●降圧剤などの薬を服用の
方は、主治医に相談してください。当日の朝に内服
した場合は、会場の受付で担当者に伝えてください
●検査後にバリウムの排泄を促すため、下剤を飲ん
でいただきますが、その後も長く腹痛等が続く場合
は、医療機関での受診をお勧めします ●過去に開
腹手術(胃・腸・胆のう等、帝王切開も含む)をし
た方や、現在腹痛・お腹の張り等の腹部症状のある
方は、安全のため医療機関での受診を強くお勧めし
ます

【肺がん・結核検診】

検診内容／問診・レントゲン撮影(問診結果により
喀痰検査)

費用／100円(喀痰検査は別に後日300円)

※生活保護世帯は受給証を持参により無料

がん検診の精密検査を受けましょう

本市では毎年約300の方が、がんで亡くなっ
ており、早期発見・早期治療がとても大切です。
市のがん検診で精密検査が必要とされた方は、
医師に相談のうえ、精密検査を必ず受けましょ
う。なお、1月頃に精密検査未受診者を対象に電
話とはがきによる受診推奨を実施します。



保健センターからの

乳がん検診（集団検診）を実施します

検診会場	検診日	受付時間
吹上保健センター	2月5・6日(月・火)	①12時30分～13時 ②13時30分～14時
鴻巣保健センター	2月9・13日(金・火)	

対象／市内在住で40歳以上の女性（昭和53年4月1日以前生まれ）※勤務先で受診した方や妊娠中の方及び授乳中の方、断乳後6か月未満の方、豊胸手術を受けた方、ペースメーカーを装着している方は受診できません。また、昨年度・今年度に市の検診を受けた方は受診できません。ただし、無料クーポン券該当の方は、受診できます

定員／各日100人（先着順）

検査内容／問診・視触診・マンモグラフィ検査（乳房X線撮影）※必ず視触診とマンモグラフィ検査の両方を受診していただきます

費用／500円 ※生活保護世帯は受給証を持参により無料

持ち物／健康手帳（お持ちでない方は当日交付）、バスタオル1枚、平成29年度鴻巣市健(検)診受診券
※がん検診無料クーポン券の対象の方はクーポン券
その他／●集団検診か個別検診のどちらか一方での受診となります。個別検診は、2月28日(水)まで指定医療機関(たけうちクリニック、はやしだ産婦人科医院)で受診できます。個別検診を希望する方は直接医療機関へお申し込みください。受診券と費用1,000円が必要です ●生理前の乳房の張る時期をできるだけ避けてください ●着脱しやすい服装でお越しください ●問診票の記入があります ●検査結果は約1か月後に郵送します

申込み・問い合わせ／1月30日(水)の9時以降に電話で鴻巣・吹上保健センター。定員に満たない場合は、検診日前日までの平日に随時受付

歯医者さんは痛くなる前に！40歳からの歯科健診 ～年に1度の歯科健診で、いつまでも自分の歯でおいしく食べましょう～

最近、歯科医院には行きましたか？歯を失う原因の1位は歯周病です。ぜひ歯科健診を受けて、お口の中の状態をチェックしてもらいましょう。かかりつけ歯科医院を決めて、定期的に受診することで、むし歯や歯周病を予防し、いつまでも健康な歯を保ちましょう。

実施期間／3月31日(出)まで ※休診日を除く

ところ／申込み時に実施医療機関を案内

対象／健診当日に市内在住で40歳以上の方 ※治療中の方はご遠慮ください。健診は年度内に1人1回まで

内容／問診、むし歯・歯周病等の診査

費用／400円（受診時に医療機関の窓口で支払い）

※生活保護世帯は受給証を持参により無料

申込み／直接又は電話で鴻巣・吹上保健センター



A ヒートショックとは、温度の急激な変化で血圧が大きく変動することによって、

Q ヒートショックを防ぐ方法を教えてください

失神や心筋梗塞、不整脈、脳梗塞を起こすことで、冬場に多く見られ、多くは高齢者に起こります。ヒートショックを防ぐには、寒い季節に脱衣所や浴室、トイレを温めておくことで予防できます。寒い脱衣所や浴室、トイレを暖房で温めたり、内窓の設置やユニットバスにするなどで断熱改修をすることは、効果的なヒートショック対策です。お風呂での対策としては、高い位置に設置したシャワーから浴槽へお湯をはることで、浴室全体を温めること等があります。夕食前や日没前に入浴することも重要です。まだ気温が比較的高く、脱衣所や浴室がそれほど冷えない時間で、体の疲れが出ないうちに入浴することで、温度差への体の適応がしやすいからです。食後すぐや飲酒時の入浴は、血管が拡張し血圧が下がりがやすくなるため、控えた方が良いでしょう。お風呂の温度は、熱くない程度の41℃以下の設定が好ましいです。可能な場合は、家族による適切な見守りや、公衆浴場等を活用し、一人での入浴を控えた方が良いでしょう。

寒い季節に、暖房や断熱改修を効果的に取り入れ、家屋の中の温度差を減らし、入浴の方法に気を配ることが、ヒートショックを防ぐ方法です。



（一般社団法人 鴻巣市医師会）

